

2008年
2月1日
No.37

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

「2008年旗びらき」を開催 和やかに今年の抱負や思いを語り合う

さざなみネットは、1月28日大津市内で、滋賀銀行従業員組合とともに、「2008年旗びらき」を開催しました。

滋賀銀行従業員組合中島委員長のあいさつの後、浦谷委員長が次のようにあいさつをしました。

「さざなみネットは結成から3年目となりました。昨年は金融労連近畿地協も結成され、地域の仲間と共に歩んでいます。職場の状況は本当に厳しくなっており、矛盾や不安であふれています。昨年も職場の悩みの相談を受ける中で、みなさんの協力により新し

い仲間を迎えることができました。今年もみなさんの協力で仲間を増やしていきたいと思っておりますので、いろんな情報をいただきたく思います。今年もよろしくお願いいたします」

参加者全員が乾杯し、和やかに今年の抱負や思いを語りあい、健康でがんばることを誓い合いました。



あいさつをする浦谷委員長

金融労連近畿地協拡大幹事会

08春闘を大きな構えで



岩波美智子さん 画

金融労連近畿地協は、1月26日、大阪市において第2回拡大幹事会を開きました。近畿各地から19人が集まり、さざなみネットからは山崎書記長と岩波執行委員が、近畿地協の事務局次長・幹事として参加しました。事務局・各単組や

支部の活動報告の後、春闘や組織拡大・強化について討議しました。

その後、春闘学習会で生活保護費より少ない自分の賃金を知り、憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するため、独自の賃上げを要求している仲間、数年にわたり病気になるまで退職の強要を受けましたが、「やめません」とがんばっている仲間（概要「職場の声」欄）の訴えがありました。

企業間・地域間の格差が広がり、生活や職場の状況が厳しくなっています。08春闘を大きな構えでがんばろうと話しました。



職場の声

病気になるまで
退職強要・パワハラ



- ・ 人事部長が働いている支店まで来て、「やめてもらえんか。成績が悪い。共働きなので生活できるやろ」
- ・ 営推部長より「やめてくれ。自分の人件費も稼いでいない。困る」
- ・ 短期間で何度も異動をさせ、また、経験したことのない仕事へ配置させる。
- ・ 支店長より「やめてくれ。君が失敗して、私が飛ばされたら、一生うらんでやる」
- ・ 「人事部へ降格を申し出る」
- ・ こうした中で、体が動かなくなり、トイレにも行けなくなりました。また、人に会うのがおそろしくなり、自動車にも乗れない症状が出るようになりました。
- ・ 長期欠勤・休職となる。
- ・ 人事部へ報告の際、人事部次長より「復帰後の居場所はない。やめてくれ」

「やめません」ががんばる仲間
今「怒り」の集中を

こんな中で、「やめません」と長期にわたって、がんばっている仲間がいます。同じような状況でやめていった仲間、今悩んでいる仲間もたくさんいます。

こんなことを許しておいてよいのか。労働者の尊厳、人権侵害を根絶するため、今こそ怒りを集中するべきです。